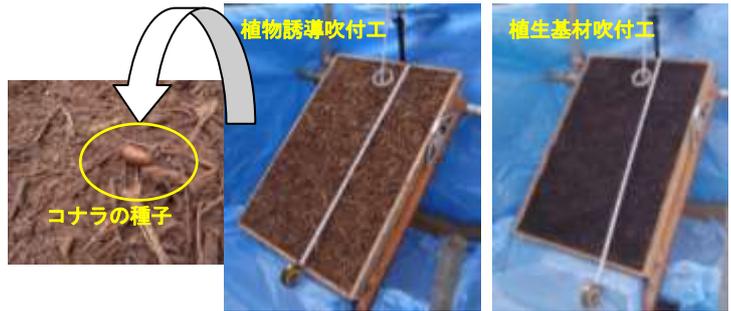


自然侵入促進工にオススメ！植物誘導吹付工

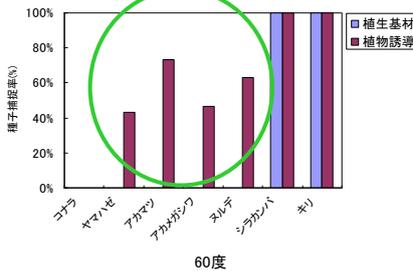
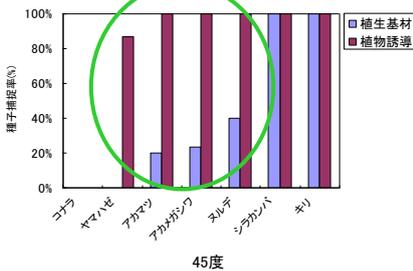
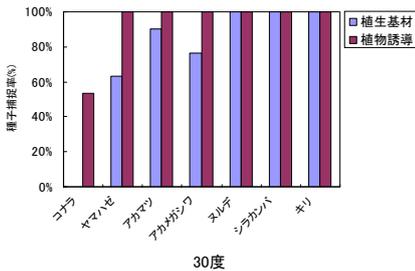
生物多様性に配慮した新しい植生工として、『自然侵入促進工』が注目されています。これは、周辺植生から飛来する種子を法面に保持させ、自生種を回復させる方法です。しかし、単純に種子を抜いた植生基材吹付工では十分な効果を発揮しない場合があります。植物誘導吹付工は次の3つの特徴を有し、自然侵入促進工としても高い評価を受けています。

特徴1 種子を捕捉する微細な凹凸

幅60×長さ90cmの植物誘導吹付工と植生基材吹付工の基盤をつくり、30度、45度、60度に傾け、様々な種子を高さ30cmから落下させました。その結果、植物誘導吹付工は植生基材吹付工に比べて、種子捕捉力に優れていることが実証されました。

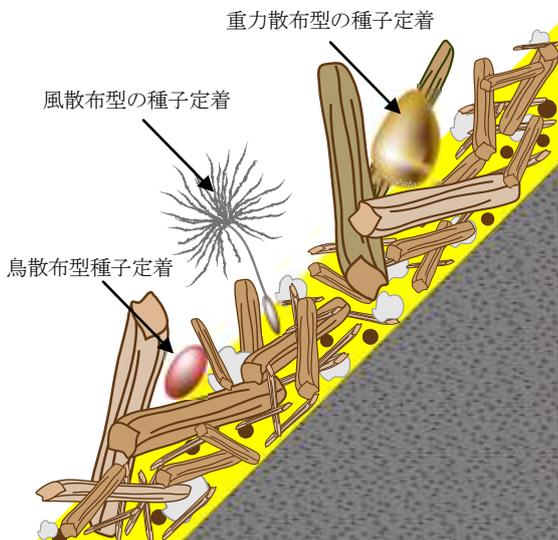


植物誘導吹付工では45度以上でも、種子を捕捉できます



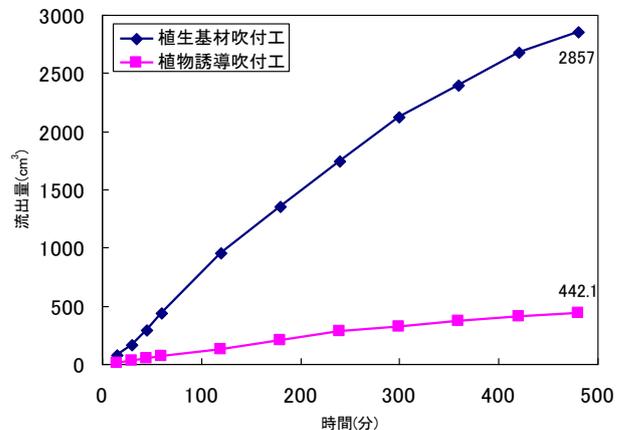
特徴2 種子を定着させる微細なポケット

植物誘導吹付工に使用する1~1.5インチの破砕材は繊維形状が複雑に絡み合い、表面に微細なポケットを作り出します。内部に落ちた種子は、風で飛ばされず、発芽生育することが可能です。



特徴3 生育を基盤を保持する優れた耐浸食性

植物誘導吹付工の流出量は植生基材吹付工の15%でした。自然侵入促進工では、植被率が低い状態が長期間続くため、長期間にわたり耐浸食性に優れた対策が必要です。



降雨試験の侵食量比較(植生基材吹付工と植物誘導吹付工)
人工降雨100mm/時、45度勾配で8時間実施

植物誘導吹付工の標準配合(自然侵入促進工タイプ)

名称	規格	単位	数量	摘要
破砕材	生チップ 1.0~1.5 インチに破砕	L	1,500	繊維状に破砕したもの
肥料※	樹燐 N:P:K:Mg=7:32:7:14	kg	3	根酸により溶出、植物の生育に合わせ有効に吸収される
接合剤	高分子系樹脂「ひつつくん」	kg	5	
添加剤	微生物活性酵素「はえるちゃん」	kg	50	スラリー状にしてグラウトポンプで圧送
種子等	使用しない			

※肥料は緩効性でかつコーティング肥料等でないものを使用

植物誘導吹付工における自然侵入促進工の事例

工事名 : 平成 15 年度滝畑地区復旧治山工事

施工時期 : 平成 16 年 3 月

施工面積 : 切土 2,000 m² (t=5cm)

調査結果 : 平成 19 年 10 月の調査(3 年 7 ヶ月後)

群落高は 5m を超え、法面全体が樹木で覆われていました。優占種は、落葉高木のアカメガシワ、クサギで、出現種数は 41 種を確認しました。また、出現種数の内訳は、在来木本が 22 種と樹木が多いのが特徴です。



〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町 8-7-7

TEL072-232-6060 FAX072-232-6008

<http://www.norimen.com/>